

行政視察報告書

令和6年 10月28日

長浜市議会議長 高山亨様

長浜市議会議員 村山さおり

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

- 視察等名 令和6年度健康福祉常任委員会行政視察研修
- 視察期間 令和6年10月21日（月）～22日（火）
- 視察場所及び目的
 - 埼玉県入間市
「児童発達支援センターについて」
 - 愛知県知多市
「認知症について」

4. 調査内容感想等

・視察の目的

■埼玉県入間市・・・児童発達支援「元気キッズ」を見学させていただき、今後ますます数も質も向上すべき児童発達支援について学ばせていただく。

■愛知県知多市・・・令和2年4月施行の「知多市認知症施策推進条例」施行までの経緯をはじめ、認知症施策全般について学ばせていただく。

・視察の内容

■埼玉県入間市・・・入間市児童発達支援センター「ういず」にてお話を伺う。

内容的には当市と重なるところも多かったが、日中一時支援に、就学後の継続支援や保護者のレスパイト対応があり、手厚さを感じた。

また、園への移行などで市からの働きかけはあるかとの問いに、無いとの回答であった。保護者が希望すれば就学まで通えるよう。

特別支援学校に通う医療的ケアが必要な児童生徒が通える放課後等デイサービスが2ヶ所あるとのことだった。

地域支援事業としては、家族支援として相談会や家族交流会、きょうだい支援があり、地域支援として地域の関係機関との連携、就学後の継続支援、卒業に際しての就労支援、中高生への支援があり、切れ目のない支援が当事者だけでなく、きょうだいなど家族まで対象としておられることが素晴らしいと感じた。

■愛知県知多市・・・近年、全国的に認知症に対する考え方が変わってきており、「認知症の人のため」から「認知症の人とどんな社会が作れるか」という視点から、様々な仕組みを考えておられた。

認知症サポーター養成講座は当市でも積極的に推進されているが、知多市はさらにステップアップ研修を受けた方が「チームオレンジ」として認知症の方やご家族の支援活動をされているとのこと。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

■埼玉県入間市・・・長浜市の放課後等デイサービスは民間の事業所も多数あり増加傾向にあるが、療育教室は公的なものが3ヶ所（2ヶ所に統合予定）、民間2ヶ所と足りていないと感じる。園へ通いながら療育の先生が訪問支援に通われることもあるが、療育教室を卒業することへの不安は拭えていないように感じる。

子どもの数の減少に反して、支援の必要な子の数は増加している。

保護者の負担や虐待防止の観点からも、療育教室の充実は喫緊の課題と感じる。

更なる現状把握に努めるとともに、保育士や作業療法士、言語聴覚士など専門分野の人員確保をはたらきかけていきたい。

■愛知県知多市・・・当市も認知症サポーター養成講座は多数受講しておられるが、さらにステップアップして、活動の場が増えるシステムを構築できるのではないかと。

講座を受けてさらに自分のスキルを活かしたい人に、認知症のある人やご家族の話し相手やフォローに入っていただく等、早期発見、早期支援として専門機関等へのつなぎ役として活躍していただけたらと思う。